

- ・平成25年に締結された「水銀に関する水俣条約」が令和2年に発行されたことに伴い、同年から、水銀灯の製造が禁止され入手が困難となったため、水銀灯を使用している体育館アリーナ等の照明の更新が必要となる。
- ・「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が、平成28年4月に施行されたことに伴い、障がいのある生徒が県立高校へ進学する場合、及び県立高校に在籍する生徒が何らかの理由で障がいのある状態になった場合に、生徒に応じた合理的配慮をする必要がある。

(2) 事業内容

<長寿命化> 計 3,340,472 千円 (事務費除く)

実施設計費： 120,907 千円
 (高等学校：19校25棟 特別支援学校：2校2棟)

改修工事費： 3,219,565 千円
 (高等学校：24校27棟 特別支援学校：7校9棟)

<その他> 計 560,613 千円 (事務費除く)

実施設計費： 3,275 千円
 (高等学校：0校0棟 特別支援学校：1校1棟)

改修工事費： 557,338 千円
 (高等学校：26校27棟 特別支援学校：7校7棟)

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・県10/10

(4) 類似事業の有無

- ・無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	217,434	実施設計 (124,182) 工事監理 (93,252)
工事請負費	3,683,651	改修工事
事務費	11,278	
合計	3,912,363	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第3次岐阜県教育ビジョン
 基本方針5 学びを支援する安全・安心な教育環境づくり
 目標25 学校施設の整備の充実

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県立学校の施設や設備を整備することで、児童生徒の安全を確保し、安心して学べる学習生活環境を維持・向上させる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標	達成率
長寿命化校舎等改修工事実施棟数	-	20	25	22	-	-

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p><長寿命化> 【校舎等（屋上・外壁・庇等）改修、体育館改修】 工事…高等学校：16校18校舎 特別支援学校：2校2校舎</p> <p><その他> 【体育館照明LED化工事・窓ガラス飛散防止フィルム貼付、その他改修】 工事…高等学校：8校9施設 特別支援学校：14校17施設</p>
令和3年度	<p>令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない
(評価) 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない
(評価) 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている
(評価) 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 校舎(産業教育振興校舎を除く)、体育館、部室等は劣化が進んでいるものが多いため、整備必要箇所は年々増加するものと考えられる。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 整備の緊急性や必要性を総合的に判断し、整備箇所の優先順位を付けたうえで効率的な整備を図る。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	-
組み合わせる理由 や期待する効果 など	-